久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	韓国語Ⅲ	
科目基礎情報						
科目番号	5CG21		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	崔柄珠著、おはよう韓国語2、朝日出版社、2015年					
担当教員	安 瀬珠					
到達目標						
1. 韓国語の読み・書きができる。 2. 今後一人でも自習学習ができる。 3. 正しい発音、語彙力を身につけ、自分の意思を正確に伝えることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ハングルの読み書きがすすらで きる。		ハングルの読み書きができる。		漢字語の音読み・訓読みを使い分 けできない。	
評価項目2	用言の活用ができる。		動詞・形容詞の活用のための語幹 分類ができる。		用言の活用形から辞書形を推理す ることができない。	
評価項目3	多様な表現を使ってコミュニケー ションをとることができる。		身近な日常会話ができる。		専門用語の混じった文の聞き取り ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE E						
教育方法等						
概要	隣国である韓国に対する理解と関心を高めるために、韓国語とその背景にある文化、歴史にも触れ、積極的に韓国人とのコミュニケーションをはかる姿勢を持つことを目指す。					
授業の進め方・方法	授業は教科書と練習用プリントを中心に行われる。会話の練習をするためにペアを組んで発音してみたりすることがあるので、積極的な授業参加が求められる。					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 70%、平常点 (小テスト、課題、授業態度など) 30%。 60点以上を合格とする。 再試験を行う。 					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	韓国語Ⅱの復習	・用言の活用を理解してヘヨ体を話せる		
		2週	丁寧な命令、勧誘・意志表現Ⅰ	・用言+ウセヨ/セヨを入れて尊敬形、丁寧な命令形に変えることができる。		
		3週	婉曲表現、ウ変則	・ウ変則用言に各語尾を接続することができる。		
		4週	用言の否定形、プ変則	・プ変則用言に各語尾を接続することができる。 ・用言を否定形にすることができる。		
		5週	原因・動作の先行、意志Ⅱ	・「アソ/オソ」を入れて文を作ることができる。 ・意志表現を使った韓国料理屋での会話内容を理解することができる。		
		6週	推測・意志表現Ⅲ、未来意志表現	・未来意志表現を使って休み計画を話すことができる。		
		7週	現在連体形、移動の目的	・用言と名詞の間に適切な現在連体形を入れることができる。		
		8週	条件表現、リウル変則	・リウル変則用言に各語尾を接続することができる。		
	4thQ	9週	過去尊敬形、理由・継起表現	・基本形を過去の尊敬形に変えることができる。		
		10週	韓国の歌謡を覚える。 韓国の大衆文化について話し合う。			
		11週	可能・不可能、列挙	可能・不可能表現を使って、自分ができるとできないことが紹介できる。		
		12週	過去連体形、意志・約束	・用言と名詞の間に適切な過去連体形を入れることができる。		
		13週	意図・決心表現、ル変則	・ル変則用言に各語尾を接続することができる。		
		14週	未来連体形	・用言と名詞の間に適切な未来連体形を入れることができる。		
		15週	フ変則、義務・許可表現	・フ変則用言に各語尾を接続することができる。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	化学・生物系分野	有機化学	混成軌道を用い物質の形を説明できる。	2	
				誘起効果と共鳴効果を理解し、結合の分極を予測できる。	2	
				σ結合とπ結合の違いを分子軌道を使い説明できる。	2	
				ルイス構造を書くことができ、それを利用して反応に結びつけることができる。	2	
				共鳴構造について説明できる。	2	
				炭化水素の種類と、それらに関する性質および代表的な反応を説明できる。	2	
				芳香族性についてヒュッケル則に基づき説明できる。	2	

			分子の三次元的な構造がイメージでき、異性体について説明できる。	2	
			構造異性体、シーストランス異性体、鏡像異性体などを説明できる。	2	
			化合物の立体化学に関して、その表記法により正しく表示できる。	3	
			代表的な官能基に関して、その構造および性質を説明できる。	2	
			それらの官能基を含む化合物の合成法およびその反応を説明できる。	2	
			代表的な反応に関して、その反応機構を説明できる。	2	
			高分子化合物がどのようなものか説明できる。	3	
			代表的な高分子化合物の種類と、その性質について説明できる。	3	
			高分子の分子量、一次構造から高次構造、および構造から発現する性質を説明できる。	3	
			高分子の熱的性質を説明できる。	3	
			重合反応について説明できる。	3	
			重縮合・付加重合・重付加・開環重合などの代表的な高分子合成反応を説明でき、どのような高分子がこの反応によりできているか区別できる。	3	
			ラジカル重合・カチオン重合・アニオン重合の反応を説明できる。	3	
			ラジカル重合・カチオン重合・アニオン重合の特徴を説明できる。	3	
			電子論に立脚し、構造と反応性の関係が予測できる。	2	
			反応機構に基づき、生成物が予測できる。	2	
		無機化学	主量子数、方位量子数、磁気量子数について説明できる。	2	
			電子殻、電子軌道、電子軌道の形を説明できる。	2	
			パウリの排他原理、軌道のエネルギー準位、フントの規則から電子の配置を示すことができる。	2	
			価電子について理解し、希ガス構造やイオンの生成について説明できる。	2	
			元素の周期律を理解し、典型元素や遷移元素の一般的な性質を説明できる。	2	
			イオン化エネルギー、電子親和力、電気陰性度について説明できる。	2	
			イオン結合と共有結合について説明できる。	2	
			基本的な化学結合の表し方として、電子配置をルイス構造で示すことができる。	2	
			金属結合の形成について理解できる。	2	
		物理化学	蒸気圧降下、沸点上昇より、溶質の分子量を計算できる。	2	
			凝固点降下と浸透圧より、溶質の分子量を計算できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0